



父から受け継ぐ 「力合わせて」の精神

平山貴一さん(42)
千葉県・佐原教会

平山貴一さんにとって、大工である父・和市さん(70)の後を継ぐのは「当たり前のことだった」。家の隣には、木材加工のための広い作業場がある。木の香り、電動機材や鉋がけの音、飛び散る木屑……。そんな作業場は、子どもの頃の遊び場であり、働く父の背中を見られる場でもあった。

大学の建築学部に進学し、在学中に一級建築士の資格を取得。卒業後は、大工仲間を集めて建設会社を興して和市さんのもとで働き始める。そして十年前、三十二歳の若さで会社を任された。現在は、戸建ての新築や既存住宅のリフォームなどを手がける。客の要望を聞いて図面を起こし、社員や外部の業者に仕事を割り振るほか、自身も現場で施工にあたる。

家を建てる仕事は、設計に始まり、資材の仕入れ、木材加工、基礎工事に組み立て、外壁や内装と、実に

多様。社長だった頃の父親は、職人それぞれの得意分野を生かして仕事の舵を取っていた。人とのつながりを大事にする誠実さも、求心力となっていた。その先代の姿が目標だ。

もう一つ、平山さんを支える信念は、法華経の方便品から学んだ「どんな現象も、自分を成長させようとする仏の慈悲」という教えだ。問題が起こっても「今の自分にふさわしい試練」と前向きに考えられるようになった。

「父はもちろん、年上の職人さん、つきあいのある業者さんが自分の知らないことを教えてくれて、一緒に考えてくれる。そんな先輩や仲間がいるから、むしろ悩むことすら楽しい。家は人の暮らしを支えるものだから、みんなの力を合わせて、お客さんのイメージを形にしたい」と語る平山さん。今日も笑顔で現場に赴く。



有限会社 伸栄建設
〒287-0107
千葉県香取市助沢 619
電話 0478-75-2744
<https://shineikensetsu-az.jimdofree.com/>



*立正佼成会経営者サンガネットワーク「六花の会」

<https://rikkanokai.jp/community/>

3月1日から上記ウェブサイトでもこの記事がご覧になれます。